

平成29年 第6回(平成29年4月13日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

○報 告 ・平成29年度教育委員会主要課題について

議事概要

○報告 ・平成29年度教育委員会主要課題について

平成29年度における教育委員会の主要課題について報告を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・世の中全体で働き方改革が声高に言われている。教職員の業務の適正化については、誰もが潜在的に分かっていたことであったが、ようやくここにきて議論の俎上に乗り始めたところである。現場がどれだけ大変で、かつ非常に長く引きずっている問題なのだとすることを十分に認識し、優先順位を高め、スピード感を持って対応しなければならない。
- ・中学校における全員給食導入の機運が高まる一方で、現在のデリバリー給食への注目が低下することを危惧する。食缶方式による全員給食が開始されるまでの間は、デリバリー給食の喫食率が落ち込むことのないよう、今まで以上に周知や利用率向上を図る必要がある。
- ・不登校、いじめ等への対策として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの増員を、今後さらに進める必要がある。しかし、彼らに全ての対応を任せると、教員の対応能力が低下することが懸念される。教員の世代交代が進む中、若手教員に対しては、不登校、いじめ等に対応できるスキルを学ぶ機会を提供することも重要である。
- ・次期学習指導要領から小学校5・6年生で英語が教科化されるため、小・中学校間の滑らかな接続をふまえた授業づくりが重要となる。そのためには、中学校の英語の教師が小学校で授業を行う等の工夫が必要である。
- ・小学校における児童間暴力が増えてきているということであったが、子どもは言葉で伝えられないことを暴力行為等で表現する場合がある。深く考えるだけの語彙力が身に付いていないからだと考えられるため、次期学習指導要領から教科化される「考え 議論する道徳」の授業等において、子どもが多くの語彙に触れ、考える機会を得ることによって、暴力行為等の減少に繋がるのではないかと。
- ・久留倍官衙遺跡の整備事業については、ぜひスピード感を持って進めていただきたい。また、活用方法についても、今のうちから十分に検討する必要がある。特にアクセスについては、地域の環境や自然に浸り、触れ合いながら、久留倍官衙遺跡へハイキングできるコースの設定なども一つの手段ではないか。道中では、遺跡と関連のある施設に立ち寄れたり、悠久の歴史を感じられたりすると良い。

四日市市教育委員会 教育総務課政策グループ

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5

電話: 059-354-8237 FAX: 059-354-8308

電子メール: kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp